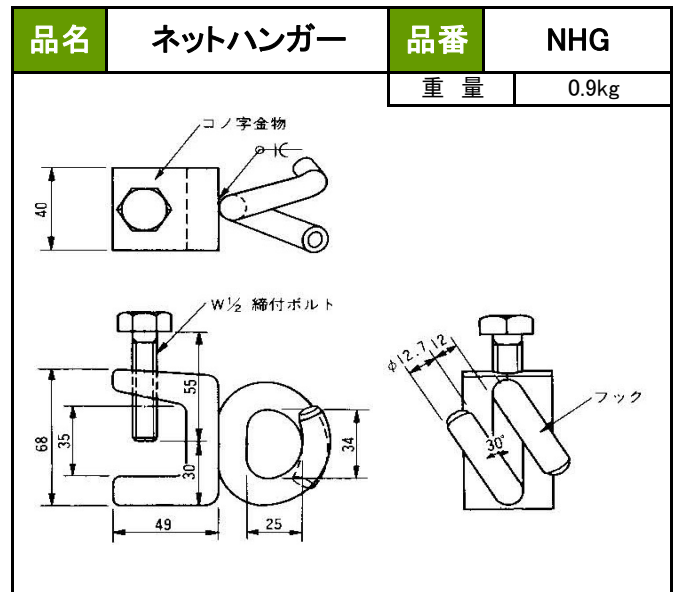


ラッセルネット・ネットハンガー



●規格・寸法

品番	寸法(m)	重量(kg)	結束系使用数
R0056N	0.5 × 6	0.9	10本/枚
R0106N	1 × 6	1.8	
R0306N	3 × 6	5.4	1本/m ²
R0606N	6 × 6	10.8	
R0510N	5 × 10	15.0	
R0808N	8 × 8	19.2	

●性能

項目	ラッセル安全ネット
品番	KSK-1430(防災)
材質	ユニチカナイロン原着系
網地の種類	ラッセル網
網地の太さ	1430 ^D /8本
網目一辺の大きさ	15mm × 15mm
網糸強度	0.49KN (仮設工業会認定基準/0.39KN以上)
縁網・吊網の太さ	9mm
縁網・吊網の強度	19.6KN (仮設工業会認定基準/14.7KN以上)

使用基準

この基準に用いる用語は、次のように定義する。

単体ネット
1枚のネットをいう。

複合ネット
複数のネットをつなぎ合わせたネットをいう。

ネットの支持点、支持面
ネットを取り付ける点を支持点といい、支持点を連ねる面を支持面という。

ネットの垂れ
ネットを取り付けた際の網地の最低部からネットの支持面までの垂直距離をいう。(S 単位 m)

落下高さ
墜落のおそれのある作業床等から支持面までの垂直距離をいう。(H₁ 単位 m)

ネット下部のあき
ネットの下方における衝突のおそれのある床面又は機械設備から支持面までの垂直距離をいう。(H₂ 単位 m)

落下高、ネットの垂れ及び下部のあき

- 安全ネットの落下高H₁は、次式により求められる値とする。
 $H_1 \leq 0.25 \times (L + 2A)$ (単体ネット) …… (1)
 $H_1 \leq 0.12 \times (L + 2A)$ (複合ネット) …… (2)
 L: 単体ネット及び複合ネットの辺長又は短辺長(単位m)
 A: 安全ネットの支持間隔(単位m)
 ただし、A ≤ Lの範囲では、A = Lとする。
- ネットの垂れSは、次式により求められる値とする。
 $S \leq 0.2 \times (L + 2A) / 3$
 ただし、A ≤ Lの範囲では、A = Lとする。
- ネット下部のあきH₂は、次式により求められる値とする。
 $H_2 \geq 0.85 \times (L + 3A) / 4$
 ただし、A ≤ Lの範囲では、A = Lとする。